

Message



“進化した日本的経営の広まりに期待”

株式会社日本レーザー 代表取締役社長 近 藤 宣 之

2011年3月11日の大震災、巨大津波、原発事故はリアルタイムで、世界に衝撃を与えました。同時に、そうした大災害の中でも、整然と秩序だって行動し、お互いに分かち合い、助け合う日本人の姿に、多くの外国人が感動を覚えました。日本は世界中で最も自然災害の多い国で、毎年台風が襲来し、数十年、数百年に一度は繰り返し火山の大爆発や大地震・大津波に襲われる国です。その経験から、自然の中に神を見て、祈りながら生活する風土が醸成されました。

かつて、1980年代には、日本的経営が海外では学習の対象になり、日本経済は世界のトップだとの評価がありましたが、バブル崩壊と経済のグローバル化によって、日本は「失われた20年」と軽蔑を受けてきました。しかし、米国での貧困層の増大や、欧州でのユーロ崩壊の危機に瀕して、新しい進化した日本的経営や、日本人の価値観・生き方が見直されつつあります。

今年のダボス会議では、莫大な年収を取る経営トップが、冷酷に社員を切り捨てる企業や、過度な競争主義や成長主義に支えられた資本主義は限界に達した、との認識を世界の識者は持ち始めました。

資源、食料、水等が有限な地球上で、人々が共存していくために、お互いに分かち合い、助け合い、人を大切にするという理念をもった、リーダーが待望されています。そうしたリーダーを育成する日本リーダーズ協会の役割と貢献はますます高まり、進化した日本的経営が世界に広まることを期待しています。